

戦中
日中友好



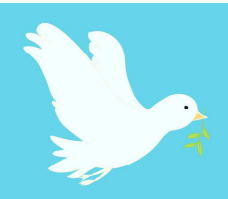
日本中国友好協会

苫小牧支部ニュース

発行所
日本中国友好協会
苫小牧支部
苫小牧市有珠の沢町
7-6-19伊藤方
☎0144(72)5348

2016年11月5日

No. 45



中国東北地方歴史と文化の旅・報告会を開催



ビデオを見る参加者

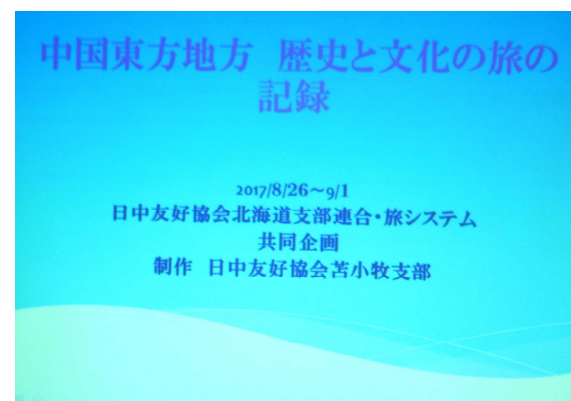
10月22日、中国旅行の報告会を中央図書館の講堂で行いました。当日8名の会員の参加でしたが、内容は充実したものでした。ビデオと写真を使って、河野事務局長が説明をしました。最初のビデオは、斉藤会員が撮影したもので、出発から帰国までを、28分間にまとめたものです。見てきたことの全体の様子がよくわかりました。

侵略戦争の酷さを実感！



話をする河野さん

次に、河野さんが、旅行中に撮影した150枚ほどの写真を、パワーポイントを使ってわかりやすく説明をしてくれました。旅行日程順にそって、ハルビン、チチハル、撫順、瀋陽で見てきた「日本の侵略戦争の遺址・記念館」の内容が順次目の前に現れると、皆さん画面に釘付けになり、食い入るように見ていました。



説明を聞く参加の皆さん

参加者から、「よく出来ていた。わかりやすかった。」「家族にも見せたいので、貸してほしい」等の感想が寄せられました。河野さん、ご苦労様でした。

特に、行為の残酷さや非道さを訴える「731部隊遺址」や「平頂山惨案記念館」の展示内容には、改めて日本の加害と侵略を胸にしみ込まれました。



画面を見ながら説明をする河野さん



熱心に話し合う理事のみなさん

理事会の報告
10月20日、伊藤・河野・谷本・高井・藤島・蔦保の6名の出席で、本年度5回目の理事会を行いました。最初に伊藤支部長から、この1ヶ月の活動を10月2日に行われた「室蘭での中国人殉難烈士慰霊の集い」を中心に報告されました。議題として、旅行報告会の持ち方・日中新聞道連版への原稿確認・中国百科検定学習会の方法・支部の春節を祝い、新会員を歓迎する会の内容・市の秦皇島市から訪問団歓迎レセプション出席・次号支部ニュースの内容確認等について話し合いました。

中国百科検定 学習会を実施

受験をする、しないにかかわらず、「理解は絆を強くする」の検定テーマに則って、今年も学習会をすすめることにしました。一応責任者は蔦保ということですが、3月まで、毎月実施します。10月27日に第1回目を実施しました。河野、藤島、蔦保の3名の学習会でした。最初に受験日程と学習内容、学習の進め方などについて話し合いました。この日の学習は、中国の地理・各省・自然などを白地図を使い、省や地名などのカードを貼るパズル風にして楽しく行いました。最後に、2級・1級の問題に挑戦してみました。



楽しく学び合いました

次回は、11月29日(火)に中央図書館研修室で午後2時から行います。受験を考えずに参加してみませんか。お待ちしております。

中国人殉難烈士 室蘭慰霊のつどい

10月2日、「第24回10・9中国人殉難烈士慰霊の集い」が室蘭市イタンキ浜の慰霊碑前で行われました。



慰霊碑

挨拶をする
松原さん

全員で黙祷の後、松原剛実行委員長が「イタンキ浜で遺骨が発掘された日にちなみ10・9を冠した慰霊を毎年続けている」などの挨拶が行われ、続いて参加者が献花を行いました。



献花をする藤島さん

集いは、来賓挨拶、室工大留学生の紹介、室蘭合唱団による強制連行の事実を伝える「砂に消えた人々」の合唱、鳴谷道連会長の太極拳の表演と続きました。



太極拳を表演する鳴谷会長

今回の集いには、伊達高校放送局の生徒2人が参加し、高文連のコンクールに強制連行のこと、慰霊碑や集いのこと等を取り上げて発表したいと話しました。



献花をする伊達高校の生徒

中国東北地方・歴史と文化の旅に参加して

室蘭市在住 中村 順子

苫小牧市に住む弟から「8月に生まれた所へ行く旅行があるけど、一緒に行つて見ないかい」と電話を受けて、夫と二人で旅行申し込みをしました。

私達三人姉妹弟は、全員旧満州生まれ。今は亡き姉と私は、チチハル市順福胡同1番地で、弟はチチハル市永安街148号で出生。姉が3歳くらい、私は1歳半くらい、の頃、チチハルの、多分住んでいた住宅と思われ家の前で両親と4人で写した写真が残っています。弟には、その写真もありません。

終戦一か月前の昭和20年7月、教員だった父は現地召集され、以後、私達家族と会えることはありませんでした。「終戦の間近にあるも露知らず 子らと送りぬ 我も手を振り」

（次女の病みおりし時。3人を連れ午前3時集合チチハル市を出発。2500名の人と共に）母は、父の故郷である室蘭市に帰国し、養護教員として働き、私達を育ててくれました。

自分が生まれた所の記憶が、母の話してくれた思い出以外、全くない私と弟でしたが、今回の中国東北地方への旅は、その歴史文化を知る事と共に、更に深い



生まれ故郷の地で撮りました

順子さんと紘さん

思いを抱かせてもらった旅となりました。広大な大地と人口の多さ、生まれた住所地へ案内していただいたのに、都会化された今の美しいチチハルの街並みが目に映るばかりで、心に響いてこない悲しみ、マイナス40度にもなる厳寒の地と戦争の残した厳しい現実への思いと、松花江の案内があった時、

「松花江過ぎて 野宿の団に雨降りそそぎ 袖絞りなむ」

母の短歌が頭の中に響きました。

「意地と欲張合いでなる命取り戦 恥じねば人にはあらじ」

戦後70年が過ぎ、いまだこの地球のどこかで起きて

いる悲惨な争い、戦いからは、人間にとって平和をもちたらずことは無い、という事を、誰でもが知っているはずなのに何故起こすのでしょうか。一人の声はともちつぽけなものでしょうが、声を上げ続けられ、いつかは大きな響きとなることを信じたいと思います。

尚、文中の短歌は亡き母、河野美恵著の歌集（1993年発行）「生命のうた」から転載しました。

2016・10・8記

心に響く、感動的な感想を中村さんから寄せいただきました。有り難うございました。

第3回中国百科検定

2017年3月20日(月)
15時～15時50分
札幌会場は
かでる2・7

日中友好協会 新年交流会

1月29日(日)12時～
☆KKRホテル札幌
(中央区北4西5)
☆会費 5000円
☆日中友好協会北海道連と
札幌支部の共催

中国の春節を祝い 新会員を歓迎する会

2月4日(土)午後6時
中華料理店「蓬莱」
(錦町1丁目 5-11 ☎ 34-1222)
会費 3000円
美味しい中華料理と楽しい会
話で交流をしましょう。

中国を知るための 講演会

講師 大西 広
(日中友好協会副理事長)
(慶應大学教授)
・1月16日(月)午後1時
・市民会館205号室
主催 日中友好協会苫小牧支部

中国東北地方(旧満州)歴史と文化の旅の報告 第2回 ハルビン・侵華日軍731部隊遺址 (前編)

今回の中国歴史と文化の旅の大きな目的地ハルピンの侵華日軍七三一部隊遺址を訪問しました。記念館の入り口には女性職員の方が迎えに出てくれていました。大変残念でしたが、当初館長さんが面会してくれ、そのことでしたが急な用事ができ不在になりできませんでした。

この記念館は昨年リニューアルされたものです。敷地も含め大きな規模のものでした。731部隊には航空班があり飛行場も敷地内にあったのです。本館を出ると、電気自動車(有料)がありそれに乗って敷地内を見ることが出来ます。正面入り口を入ると「非人道的な残虐行為」との掲示があります。731部隊は「関東軍防疫給水部」の通称です。森村誠一著「悪魔の飽食」で広く紹介されています。8つの部と4つの支援部隊及び大連衛生研究所をもち職員3000名の大きなものです。部隊の建築中の航空写真がありました。



写真1

憲兵部に総務部から構成されていました。また、牡丹江、林口、孫呉、ハイラルの4支援部に大連衛生研究所がありました。

部隊長は石井四郎(初代)、北野政次(2代目)です。記念館ではこの2人を「細菌戦の元凶」と表現されていました。ここでは、甚大な被害(死亡)を与えることを想定した感染症を引き起こす細菌を大量培養するための様々な器具が残されていて展示されています。アルミ製の血清瓶、細菌培養箱、磁器製の濾過器、顕微鏡、実験動物を入れる竹籠、ネズミ捕り器、医薬品を入れる瓶などなどです。どんな細菌を培養、

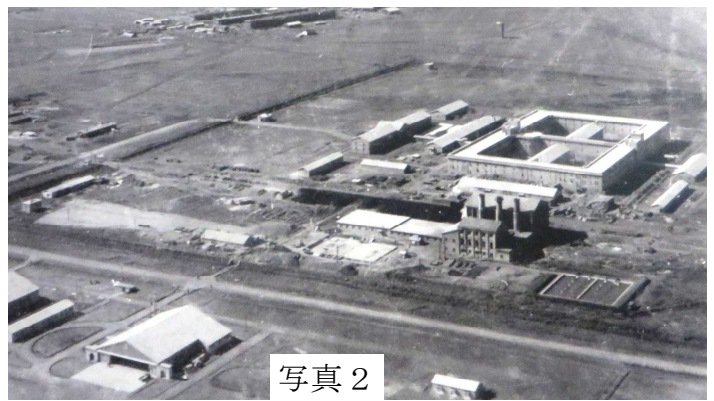


写真2

細菌攻撃方法の研究、野外実験、ペスト菌と炭疽菌を使った石井式陶器製細菌弾を作り、1937年から、1942年の間、1700発の細菌爆弾を生産したとありました。

写真3 (石井式陶器製細菌爆弾)



写真3

実験していたかという、腸チフス菌 パラチフス菌 赤痢菌 コレラ菌 ペスト菌 炭疽菌 ボツリヌス菌 天然痘 破傷風菌 フグ毒 ダニ媒介脳膜炎 ツツムシ インフルエンザ サルモネラ菌 結核菌など29種とされています。

なんとその中には農作物に被害を与える植物の病原菌も対象にしていたとありました。武器として実用、製造されたものはペスト、コレラ、炭疽菌、赤痢菌など限られたものだったようです。しかし、実験に供した細菌等の多さにはびっくりしました。これらを培養し人体実験を含め使われていたことを想像すると、ほんとに震撼させるものです。

731部隊では細菌戦に係るもの以外に、毒ガス戦や凍傷に対応した研究、それらに係る野外実験なども行われ、その様子が展示されています。被験者(マルタ)を円形に一定の距離をおいた十字上の杭に縛り付け、その円形状の中心で細菌兵器を爆発させる。爆弾の破片で傷を与えないように顔と手足首を除いて鉄の板で防御させる。細菌のみの影響を観察できるようにするためです。

(河野紘記)

びっくりしたァー 表現のいろいろ

びっくりしたァーなど、おどろいた時の「決まり文句」
危機感のある予期せぬ出来事があった時の「びっくりしたァー」とおどろいた表現です。

1. 吓死我了

 シャ ス ウォ ラ
 吓 死 我 了
2. 吓我一跳

 シャ ウォ イー ティアオ
 吓 我 一 跳
3. 真吃惊

 ゼン チイ リアン
 真 吃 惊
4. 你吓着我了

 ニイ シャ ジャオ ウォ ラ
 你 吓 着 我 了
5. 你吓了我一跳

 ニイ シャ ラ ウォ イー ティアオ
 你 吓 了 我 一 跳

びっくりしたなァー！

びっくりしたなァー！

おどろいたァー！

びっくりしたよ！

跳び上がるくらい、びっくりしたよ！

- ※ 冒頭に、驚いた時の悲鳴にあたる「うわァー」「哎哟」を使うと、より一層強調した表現になります
- ※ 大きな声で、実感を込めて言ってみよう。

アイ ヨ シャ ス ウォ ラ
 哎 哟、吓 死 我 了！

うわァー びっくりした！



中国語講座

山口晃

中国語に親しんでいますか。
発音が難しいですよね。
がんばりましょう。

No.23

10月22日に市内外から30名が参加し、労働問題について学びました。講演では川村教授がブラック企業・バイトの実態を解説、若者が労基法等の知識を身に付ける重要性を語った。

北海道社会保障学校in苫小牧
 10月10日(月)に、苫小牧市民会館で、行われました。講演では、「貧困の実態と展望」の内容で、藤田孝典氏(大学教授)が、格差社会や漂流社会の問題について詳しく話され、参加者が熱心に聞いていました。



憲法と若者の雇用

- ・憲法を活かす、平和を守ると言うのなら。教え子を再び戦場に送らないと言うのなら。
- ・学生・若者を、過労死職場・ブラック企業に無防備で送り出さない取り組みを。
- ・職場はもちろんのこと、教育現場や地域においても、過労死等防止対策推進法に魂を入れていく／法を活かす取り組みを。

→→→本学「出前講義」のスライド

働く人びとの命と健康をまもる北海道セミナー

苫小牧うたごえサークルわたぼうし

第47回うたごえ喫茶

11月6日(日)午後1時～3時

三星ハスカップホール

(糸井141 三星本店2階)

参加費 500円

こぶし座

○12月7日(木)午後6時半開演

○アイビープラザ・ホール

○会費 一般 2000円

小中高生 500円

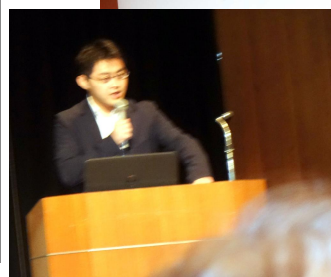
・江差祭り囃子 アイヌの歌や踊り

・傘踊り 浜の母っちは津軽の嫁子他

※チケット必要な方 葛保迄(72-1152)

お知らせ

若者から高齢者の貧困の実態と展望 —下流老人と貧困世代—



聖学院大学客員准教授
PO法人ほっとプラス代表理事
藤田 孝典

中国語会話サークル

○毎週木曜日 午後6時～

○アイビープラザ

○会費 月1000円

○いつでも入会できるそうです。

○問い合わせは山口さん

(☎) 72-3924

2017中国悠久の旅

1本 1200円

大きな財政活動にもなります。

ぜひ購入をお願いします。

知り合いにも広げて下さい。

問い合わせは 伊藤さんまで

紹介

編集後記

すっかり冷え込んできましたね。苫小牧への雪の便りもまもなくという感じがします。寒さに用心して元気に過ごして下さい。

旅行の報告を詳しく書いていただいています。読み応えのある内容が、今後も続いていきます。写真もつけて戦争の実相が分かるように考えています。学びを深めて下さい。(葛保 記)